

## 受賞報告

### 日経BP技術賞を受賞



表彰楯を持つ堀内茂木研究参事

堀内茂木研究参事が、気象庁及び財団法人鉄道総合技術研究所と共同で、「地震の発生を知ら

せる緊急地震速報システムの開発と運用」により、日経BP技術賞（建設部門）を受賞し、4月6日にホテルオークラ東京において受賞が行われました。

日経BP技術賞は、日経BP社がわが国の技術の発展に寄与する目的で創設したもので、毎年1回、電子・情報家電、情報通信、機械システム、建設、医療・バイオ、エコロジーの各分野で、産業や社会に大きなインパクトをもたらす優れた技術を表彰しているもので、第17回目である本年は、大賞1件、部門賞11件が受賞しました。

## 受賞報告

### 「ナイス ステップな研究者2006」に選定される

Eーディフェンスの開発運用チーム（代表：中島正愛兵庫耐震工学研究センター長と小川信行元同センター施設整備プロジェクトリーダー）が、実物大の建物を震動させる世界に類のない先進的施設の開発運用を行った実績を評価され、文部科学省科学技術政策研究所の「ナイス ステップな研究者2006」に選定されました。

この賞は、世界でいちばんホットな科学者から「はやぶさ」などのプロジェクトまでを対象に、『科学技術分野で注目すべき業績を挙げ、経済・社会に貢献したり、国民に夢を与えたりした方やプロジェクト』、『理数離れ対策や科学技術研究の男女共同参画などで顕著な貢献をした

方』に与えられるもので、2006年は12組のナイスステップな研究者が選定されました。



ナイスステップ2006受賞者の講演会における記念撮影（後列左から3人目が阿部センター長代理、4人目が小川信行氏）。

## 受賞報告

### 小柴昌俊科学教育賞(奨励賞)を受賞

防災システム研究センター納口恭明総括主任研究員が、「Dr. ナダレンジャーの感性でとらえる自然災害の科学実験教室」で、平成基礎科学財団より、「第3回小柴昌俊科学教育賞(奨励賞)」を受賞し、3月25日に、東京大学「小柴ホール」にて授賞式が行われました。

平成基礎科学財団は「基礎科学、純粋科学に光をあて、基礎科学の面白さが分かる教育の普及、意欲と夢をもった若者を育てること」を目標に2003年に設立されました。この財団事業の一つが、「小柴昌俊科学教育賞」の授与による

基礎科学教育の振興です。

今回の受賞は、納口恭明総括主任研究員の長年にわたる防災科学実験教室への熱い情熱が評価されたものです。



小柴理事長より表彰状を授与される納口総括主任研究員  
(写真提供：財団法人平成基礎科学財団)

## 受賞報告

### 平成18年度雪崩災害防止功労者を受賞

雪氷防災研究センター上石勲研究員が、雪崩防災の技術的発展に大きく貢献したとして、2月1～2日に国土交通省・兵庫県主催で豊岡市民プラザで開催された雪崩防災シンポジウムにて雪崩防災週間実行委員会会長(国土交通省砂防部長)より表彰されました。

## 行事開催報告

### 防災研究フォーラム第5回シンポジウム

防災研究フォーラム(※)は、2007年3月10日に第5回シンポジウム「巨大災害と東京の危機管理」を開催しました。



講演する東京都の中村危機管理監

本シンポジウムは、「海外災害調査報告」、「海外における巨大災害」、「わが国における津波・高潮災害に対する取り組み」及び「東京における防災・危機管理対策」の4テーマで構成され、11件の講演が行われました。

また、前日には東京都にご協力いただき、水災害等に対する取り組みの一例として江東区白鬚西地区における市街地再開発事業現場及び都庁の防災センター等を視察する見学会を実施しました。

(※) 防災研究フォーラムの事務局は、京大防災研究所、東大地震研究所及び防災科研の3機関が輪番制で務めています。  
<http://www.dprf.jp/>

## 行事開催報告

# モンゴルにて地震災害軽減のためのセミナーを開催



セミナー終了後の集合写真

防災科研は、文部科学省及び JST 等と協力して 2007 年 3 月 6 日から 8 日にかけてモンゴルのウランバートルにおいて、“Earthquake

Disaster Mitigation - Research and Practice in Mongolia”と題するセミナーを開催しました。

当セミナーは、科学技術振興調整費課題「アジアにおける科学技術の振興と成果の活用」の一環として、日本をはじめとした自然災害に関する専門家及びモンゴルの政策決定者並びに研究者等を集め、モンゴルにおける地震災害軽減に関する議論を行うことを目的に開催したものです。

セミナー期間中に日本側が作成した提言が、モンゴルのみならずアジア諸国における減災を実現するためのものとなるよう、防災科研は引き続き活動を行ってまいります。

## 行事開催報告

# 自治体職員を対象とした防災講座と防災科研見学会を実施

防災科研では、自然災害に関する研究開発の成果を様々な形で発信しています。この一環として、地方公共団体の防災関係者や自主防災組織のリーダーの方々 30 名を対象とした防災講座を 3 月 19 日に開催しました。

本防災講座では、藤原プロジェクトディレクターが「茨城県南部の地震について」、また真木プロジェクトディレクターが「豪雨の監視と予測の最前線について」と題して、最新の研究成果を分かりやすく説明しました。また、講演後には、当研究所の代表的な施設である「地震観測データセンター」、「大型耐震実験施設」、「大型降雨実験施設」を見学していただきました。なお、

講演後には、活発な質疑応答が交わされました。



防災講演会の様子



大型降雨実験施設見学の様子

## 科学技術週間「一般公開」～自然災害を学ぼう！～

ピンポン球なだれ実験(つくば)



科学実験教室(つくば)



豪雨体験(つくば)



低温室で凍るシャボン玉(長岡)

毎年恒例の一般公開を、つくば本所では4月22日(プレイベント:4月21日)、に実施しました。

天候にも恵まれ、1700人の来場者を迎え大盛況の内に終了しました。研究成果の発表、様々な科学実験、ミニ講演会等を中心に、豪雨体験・大型耐震実験施設の見学、ピンポン球なだれ実験、サバメシ体験等を加えた子どもも大人も楽

しめるイベント群は、アンケートからも来場者に大好評だったことが伺えました。

雪氷防災研究センター(長岡)では、4月20日、21日に実施され、110人の来場者を迎えました。ペットボトルを使った人工雪の作成の体験や低温室で凍るシャボン玉、マイナスでも凍らない水などの科学実験に、子供たちの大きな歓声が絶えませんでした。

編集・発行



独立行政法人 防災科学技術研究所

〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1 企画部広報普及課  
TEL.029-863-7783 FAX.029-851-1622

URL: <http://www.bosai.go.jp/> e-mail: [toiawase@bosai.go.jp](mailto:toiawase@bosai.go.jp)



発行日

2007年5月31日 発行 ※防災科研ニュースはホームページでもご覧いただけます。